

「情報公開文書」

単機関研究用

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

てんかん症例における横紋筋融解症のリスクの検討

1. 研究の対象

2018年1月1日から2023年12月31日までに東海大学医学部付属病院脳神経内科でてんかんの診断で入院治療を受けた方

2. 研究実施期間

実施許可日から2026年3月31日

3. 研究目的・方法

【目的】てんかん発作後の合併症として横紋筋融解症の併発があり、急性腎障害に至る場合や血液浄化療法が必要となる場合があります。一方でてんかん発作に関連した横紋筋融解症のリスクはこれまでに十分な検討は行われておらず、今回その予測因子や予後改善につながる因子について検討を行います。

【方法】2018年1月1日から2023年12月31日までに東海大学医学部付属病院脳神経内科でてんかんの診断で入院治療を受けた方を対象とします。発作形式、再発の有無(抗てんかん薬の内容)、生活状況(独居、施設入居)、飲酒歴、併存疾患(高血圧、糖尿病、慢性腎臓病、心不全)、入院時CK値、入院後CKピーク値、動脈血液ガス値(pH、乳酸値)、アンモニア値、CRP、Cr値、服薬歴(脂質降下薬、抗てんかん薬、向精神薬)、入院後の鎮静剤使用の有無を調べててんかん発作後の横紋筋融解症の頻度や横紋筋融解症合併に関連する項目についての検討をおこないます。

この研究に使用する情報として、診療情報から項目4に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用しま

